

令和2年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年報



目 次

I 概 要

1. 設置目的	1
2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み	1
3. 施設の概要	2
4. 組織と職員一覧（令和2年度）	4
5. 調査業務	
(1) 発掘調査	5
(2) 資料整理	5
6. 資料の貸出・利用	6
7. 普及・活用	
(1) 常設展示及び屋外展示等	6
(2) 団体見学	9

II 令和2年度の報告

1. 予算及び決算	
(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳	10
(2) 財源内訳	10
2. 発掘調査等	
(1) 分布調査、試掘・確認調査	11
(2) 記録保存調査	11
(3) 工事立会	11
(4) 市町村支援	11
(5) 資料整理・報告書作成	12
3. 普及・活用	
(1) 入所者一覧	13
(2) 団体見学一覧	14
(3) 活動実績	14
4. 資料の貸出・利用	
(1) 遺物の貸し出し件数	16
(2) 資料の利用件数	17
5. 研修・職員派遣	
(1) 研修	17
(2) 職員派遣	17

Ⅲ 関係資料

1. 法規

- (1) 沖縄県立教育機関設置条例（抄） 18
- (2) 沖縄県立教育機関組織規則（抄） 19
- (3) 沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則 20

2. 収蔵資料の遺跡一覧 23

3. 刊行物一覧

- (1) 発掘調査報告書 30
- (2) 図録 34
- (3) 紀要 36
- (4) その他 36

I 概要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

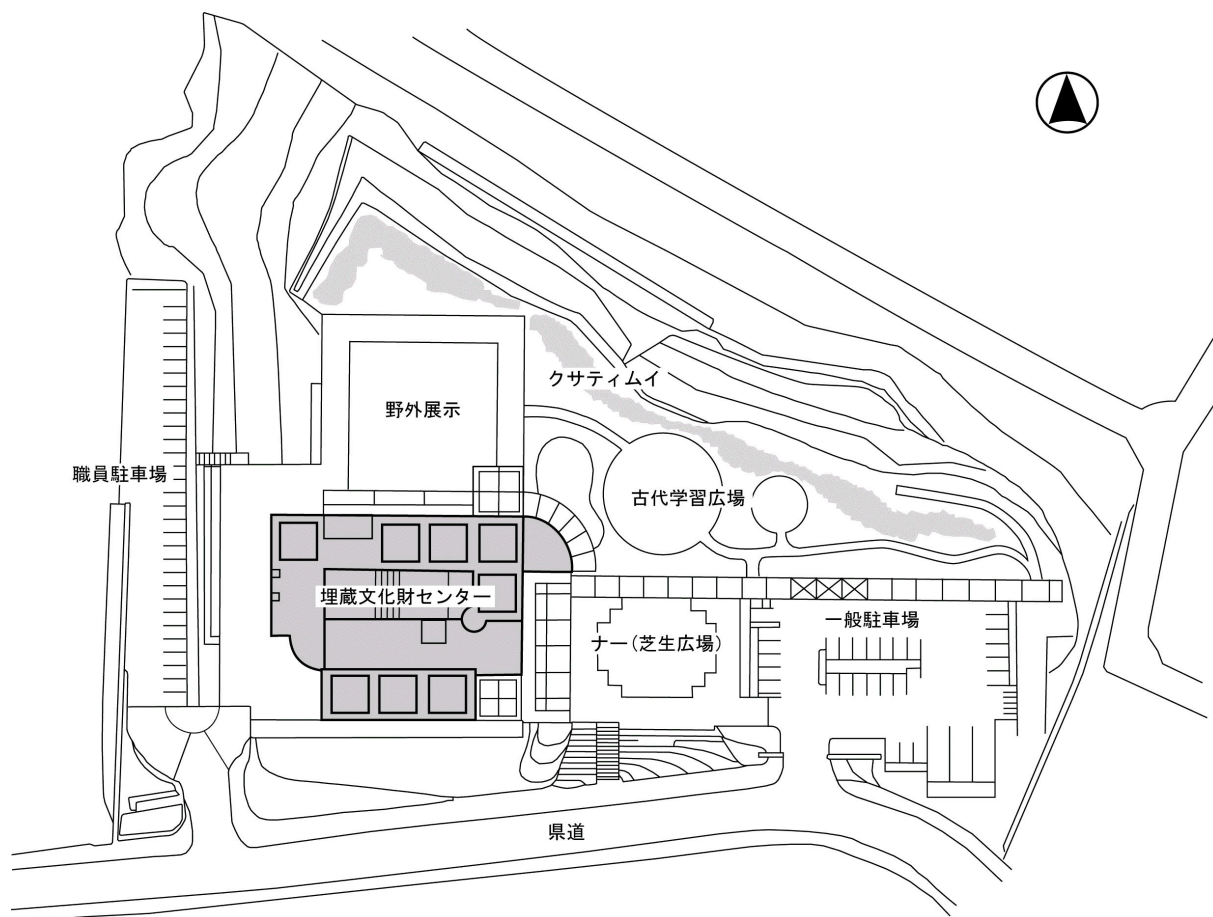
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

- | | |
|----------|---|
| 平成5年3月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。 |
| 平成6年10月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。 |
| 平成7年3月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了 |
| 平成7年11月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了 |
| 平成10年10月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工 |
| 平成11年10月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工 |
| 平成11年12月 | 平成11年第7回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。 |
| 平成12年3月 | 定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。 |
| 平成12年3月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了 |
| 平成12年4月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 |
| 平成13年3月 | 企画展示室除湿工事完了 |
| 平成14年3月 | 収蔵庫空調設備工事完了 |
| 平成31年4月 | 外壁及び屋上補修工事完了 |

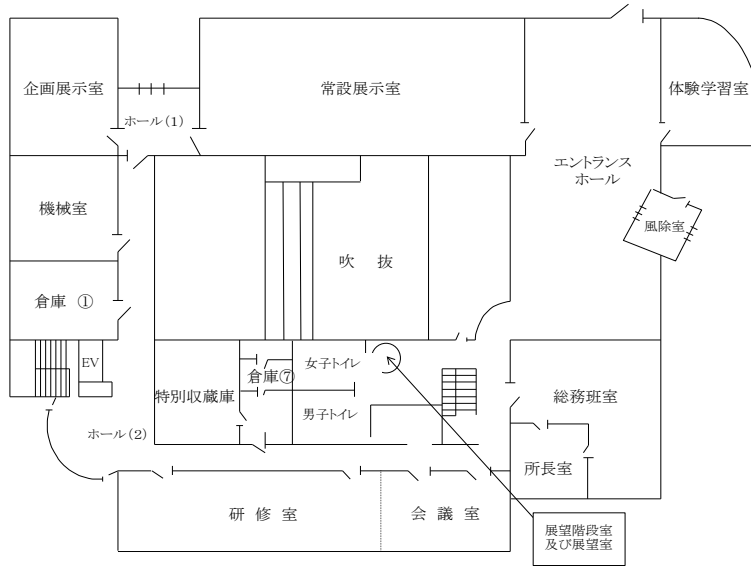
3. 施設の概要

地名・地番	沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
敷地面積	15,635 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 2 階
建築面積	3,688.29 m ²
延床面積	4,179.88 m ²

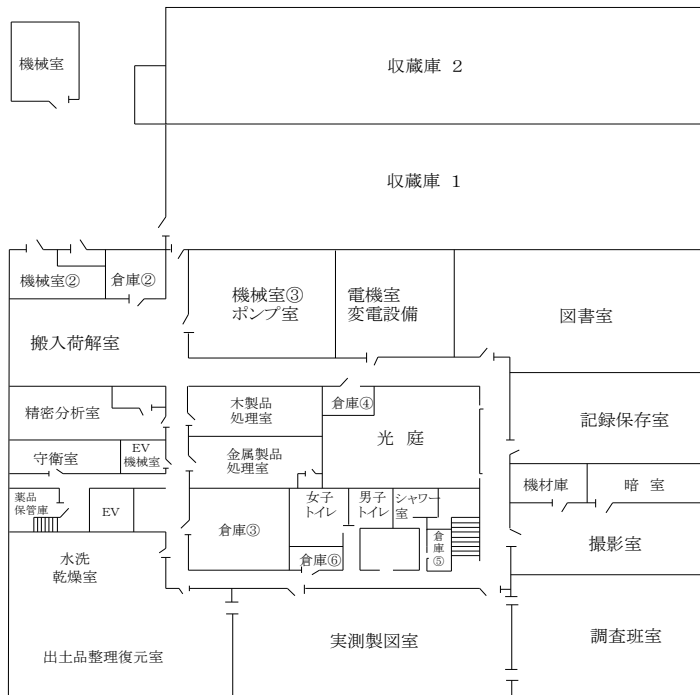


埋蔵文化財センター配置図

建物室別面積



2階平面

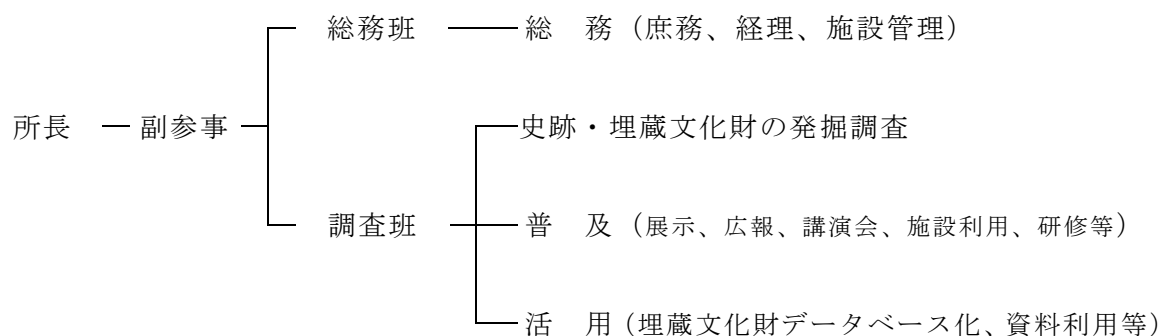


1階平面

区分	室名	面積 (㎡)
展望室	展望室	14.33
	展望階段室	14.33
	小計	28.66
2階	エントランスホール	161.24
	体験学習室	64.8
	常設展示室	170.84
	企画展示室	87.8
	研修室	170.58
	会議室	86.39
	特別収蔵庫	69.7
	総務班室	66.55
	所長室	20.63
	給湯室・トイレ等	398.02
小計	1296.55	
1階	収蔵庫	1319.76
	搬入荷解室	52.04
	木製品処理室	33.89
	金属製品処理室	35.01
	精密分析室	40.32
	水洗乾燥室	57.01
	出土品整理復元室	124.71
	実測製図室	206.84
	調査班室	101.1
	撮影室	66.99
	記録保存室	85.19
	図書室	118.21
	機械室	109.82
給湯室・トイレ等	480.73	
小計	2831.62	
屋外機械室	23.05	
合計 (㎡)	4179.88	

4. 組織と職員一覧（令和2年度）

【 組 織 】



【 職員一覧 】

所長 瑞慶覧 勝利
副参事 真栄田 義光

総務班	
職名	氏名
総務班長	池田 みき子
主幹	大城 喜信
主査	慶田花 愛
主任	當山 武幸
主事	當山 彬
主事	高良 翔大

調査班	
職名	氏名
調査班長	中山 晋
指導主事	大城 妃左緒
主任専門員	羽方 誠
主任専門員	知念 隆博
主任専門員	片桐 千亜紀
主任専門員	瀬戸 哲也
主任専門員(再)	金城 亀信
主査(再)	盛本 勲
主任	金城 貴子
主任	具志堅 清大
主任	亀島 慎吾
主任	玉城 綾
主任	田村 薫
専門員	荻堂 匠美
専門員	廣岡 凌
専門員	奥平 大貴

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で分類すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分についてやむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、開発側が沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に埋蔵文化財センターで保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

STEP 1 洗 浄	出土品についての土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。
STEP 2 注記・分類	出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。
STEP 3 接合・拔出し	出土品の多くが小破片のため、できるだけもとの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。
STEP 4 実測・復元	出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。
STEP 5 トレース	報告書に掲載するために、実測した図をきれいなぞる。
STEP 6 写真撮影	報告書に掲載するための写真を撮影する。
STEP 7 図・図版作成	トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。

表 資料整理の流れ

6. 資料の貸出・利用

当埋蔵文化財センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示や図録掲載などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター 所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとなっている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図ると同時に、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催を始め、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84㎡）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、9つのテーマにそったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を復元した「琉球御前」の展示ケースを設置し、2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。また平成29年1月より、当センターが所蔵する一押し逸品を、月替わりで展示する「まいコレ（埋文コレクション）」を展示している。そして令和元年度より、新たに「白保4号復顔像」と「白保4号人骨（複製）」を展示している。

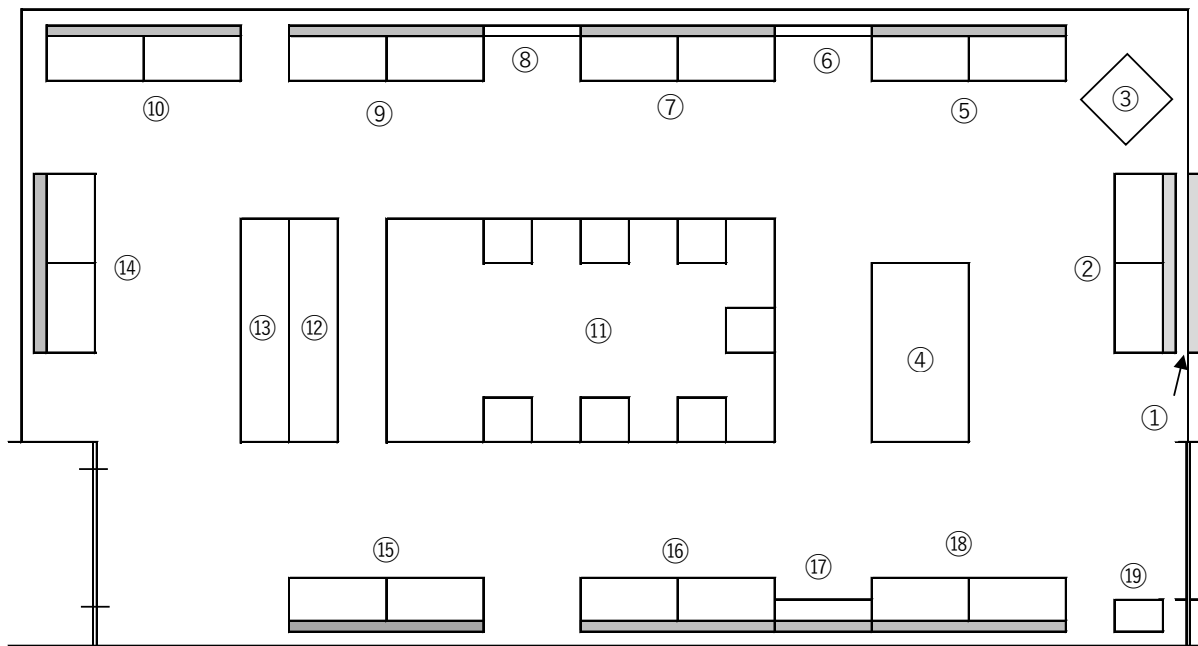


図1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 白保4号復元像
- ④ 白保4号人骨（複製）
- ⑤ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ⑥ 白保竿根田原地層剥ぎ取り
- ⑦ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑧ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑨ 住まいと道具－1
- ⑩ 貝の道
- ⑪ 再現された「2000年前の琉球のムラ」（ジオラマ）
- ⑫ 復元した「琉球御前」
- ⑬ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑭ グスクの移り変わり
- ⑮ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑯ 沖縄の古窯
- ⑰ 沖縄県の戦争遺跡
- ⑱ 先史時代の宮古・八重山諸島
- ⑲ まいコレ（埋文コレクション）

②体験学習室 (64.80 m²)

体験学習室(図2)では、実際に手で触れたり、体験したりすることを通じて、当センターの活動や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の活動をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の活動を体験できるようにしている。

また窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合の作業を体験してもらうため、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに体験学習室の真ん中にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触ったり、持ったりしてもらうことで、縄文時代の人々の生活を肌で感じられるようにしている。

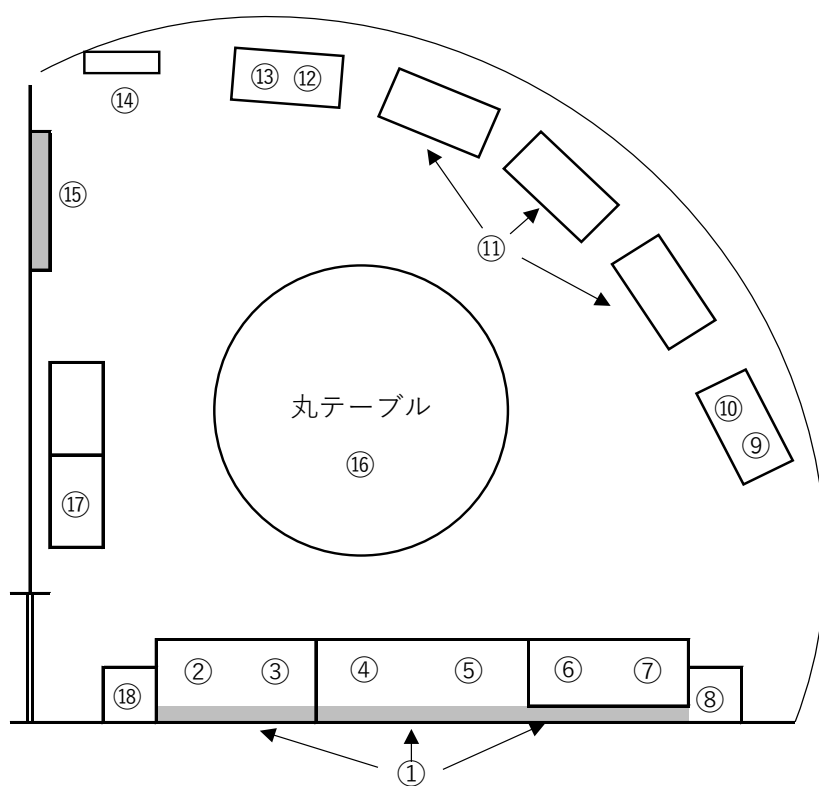


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|--|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査ってどう掘るの？」
「資料整理の様子をのぞいてみよう」 | ⑩ 日本で一番古いお墓 |
| ② トレース台 | ⑪ 接合にチャレンジ (パズル) |
| ③ 実測機 | ⑫ 土器の文様をつけてみよう。 |
| ④ 接合・復元 | ⑬ ペーパークラフトをつくってみよう。 |
| ⑤ ナンバーリング | ⑭ ロールスクリーン (仲原遺跡) |
| ⑥ 洗い作業 | ⑮ 重要文化財首里城京の内跡出土品
パズル |
| ⑦ 型式学 | ⑯ 縄文時代の主な土器 |
| ⑧ 発掘調査で使う道具 | ⑰ 火起こし器 |
| ⑨ 黒曜石はどれだ？ | ⑱ 古代人になってみよう |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアータイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して空調（温湿度）を管理することができ、国指定重要文化財の展示にも対応できる。

④古代学習広場

「古代学習広場」は、「親子体験学習」や「火おこし体験」、「土器づくり」等で活用している。

⑤研修室

考古学に関する会議や研修、または文化講座等を開催している。

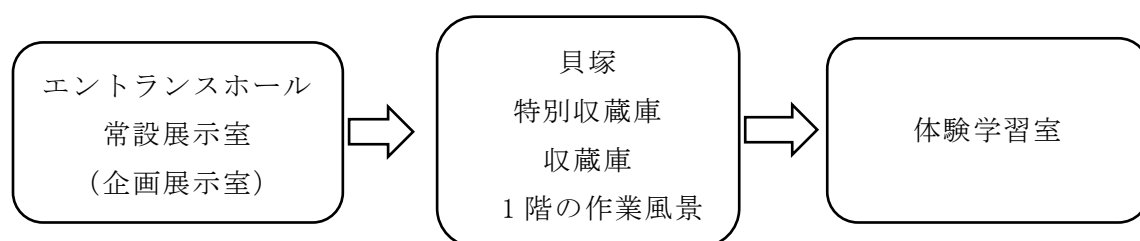
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

埋蔵文化財センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることが出来る。

（2）団体見学

当センターは、学校や自治会などの様々な団体の団体見学を受け入れており、その際担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫の見学や当センターでの業務の様子の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・団体見学は、10名様以上の団体が対象。
- ・団体見学を希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。
- ・団体見学は原則として休所日を除く火曜日～金曜日（9時～17時）に実施しているが、要望に合わせて、土日もしくは休所日に団体見学を行う場合もある。

II 令和2年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

事業区分	事業名	当初予算	補正額等	最終予算	決算額	繰越額
国庫補助事業	(文化庁計上分)					
	(1) 県内遺跡発掘調査等	83,681,000	0	83,681,000	63,520,404	0
	(2) 京の内跡出土陶磁器保存修理	5,150,000	0	5,150,000	4,947,440	0
	(3) 地域の特色ある埋蔵文化財活用	18,242,000	0	18,242,000	15,642,364	0
	(4) 円覚寺跡保存整備	2,852,000	0	2,852,000	978,130	0
	国庫補助事業計	109,925,000	0	109,925,000	85,088,338	0
受託事業	(受託元) 沖縄防衛局					
	(1) 東普天間住宅地区発掘調査	29,000,000	0	29,000,000	27,535,000	0
	(受託元) 沖縄総合事務局					
	(2) 那覇空港自動車道(小禄道路)発掘調査	1,820,000	0	1,820,000	538,888	0
(受託元) 沖縄防衛局						
(3) トリイ通信施設内発掘調査	189,000,000	0	189,000,000	167,575,000	0	
	受託事業計	219,820,000	0	219,820,000	195,648,888	0
分任事業	(分任元) 沖縄県土木建築部					
	首里城公園発掘調査	36,359,000	▲ 6,415,792	29,943,208	29,943,208	0
	分任事業計	36,359,000	▲ 6,415,792	29,943,208	29,943,208	0
県単事業	学校建設費					
	首里高校内埋蔵文化財発掘調査	111,700,000	0	111,700,000	49,196,628	58,981,360
	文化施設事業費					
埋蔵文化財センター事業費	27,253,500	0	27,253,500	26,714,744	0	
	県単事業計	138,953,500	0	138,953,500	75,911,372	58,981,360
総合計		505,057,500	▲ 6,415,792	498,641,708	386,591,806	58,981,360

(2) 財源内訳

単位：円

事業区分	合計	国庫	特定財源	県債	一般
当初予算額	505,057,500	92,185,000	219,820,000	0	193,052,500
補正額等	▲ 6,415,792	▲ 3,991,912	0	0	▲ 2,423,880
最終予算	498,641,708	88,193,088	219,820,000	0	190,628,620
決算額	386,591,806	68,655,088	195,648,888	0	122,287,830
繰越額	58,981,360	0	0	0	58,981,360

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	伊佐上原遺跡群A地点、伊佐上原南遺跡（基地内文化財分布調査）	宜野湾市伊佐（普天間飛行場内）	知念隆博、羽方誠、金城貴子	埋蔵文化財の範囲確認	令和3年1月26日～令和3年3月25日	65㎡	縄文・グスク・近世・近/集落 近代/生産遺跡、集落
2	レッドビーチ棧橋遺構、瀬底ビーチ北・南石切場跡、瀬底沖海底遺跡、阿護の浦海底遺跡、古座間味沖、東奥武海底遺跡、来間島沖海底遺跡、八重干瀬海底遺跡群第1～3地点、高田海岸沖海底遺跡、屋良部沖海底遺跡、宮良湾海底遺跡、石西礁湖海底遺跡群第1・3地点、ヌルガン沖海底遺跡、新川沖海底遺跡（水中遺跡確認調査）	本部町、金武町、糸満市、座間味村、久米島町、宮古島市、多良間村、石垣市、与那国町	片桐千亜紀、亀島慎吾	埋蔵文化財の有無確認、現状確認	令和2年7月～令和3年3月で随時	—	グスク・近世・近代/水中遺跡

(2) 記録保存調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	楚辺徳地原遺跡、楚辺親見原遺跡	読谷村字楚辺807番地ほか（トリイ通信施設内）	瀬戸哲也、廣岡凌、萩堂匠美	沖縄防衛局による建物・道路建設	令和2年5月7日～令和3年3月18日	6,882㎡	縄文・グスク/集落跡
2	中城御殿跡、大美御殿跡、首里真和志村跡	那覇市	玉城綾、奥平大貴	首里高校校舎改築	令和3年3月2日～6月10日	890㎡	グスク・近世・近代/屋敷跡・集落跡

(3) 工事立会

No.	遺跡名等	所在地	担当者	契機	期間	面積	時代/種類
1	中城御殿跡（首里高校内）、櫛園跡	那覇市	玉城綾、奥平大貴	校舎改築に伴う既設配管撤去、新校舎建設、校門撤去および新設	令和2年2月10日～7月30日（随時）	—	グスク・近世/屋敷跡・道跡

(4) 市町村支援

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	キャンプ瑞慶覧内埋蔵文化財試掘調査	北谷町	金城貴子、奥平大貴、知念隆博	埋蔵文化財の有無確認	令和2年8月12日～10月21日	70箇所	近世・近代/不明

(5) 資料整理・報告書作成

No.	遺跡名・ 報告書名等	所在地	担当者	分析指導・ 協力等	経費負担	調査 年度	刊行年月
1	円覚寺跡(3)－三門地区の遺構確認調査報告書－(第107集)	那覇市	金城貴子	－	文化庁 県	平成20～ 22・25・28	令和3年2 月
2	鏡水原遺跡－那覇空港自動車道(小禄道路)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－(第108集)	那覇市 (陸上自衛隊那覇駐屯地内)	知念隆博	－	内閣府沖縄 総合事務局 (南部国道 事務所)	平成30	令和3年2 月
3	中城御殿跡－県営首里城公園中城御殿跡発掘調査報告書(8)－(第109集)	那覇市	田村薫 奥平大貴	－	県土木建築 部(都市公 園課)	平成27～ 29・令和元	令和3年3 月
4	中城御殿跡(首里高校内)・櫛園跡－首里高校校舎改築に伴う発掘調査(2)－(第110集)	那覇市	亀島慎吾 玉城綾	丸山真史(東海大学海洋学部准教授) 上原静(沖縄国際大学総合文化学部教授)	県教育庁施 設課	平成29～31	令和3年度 刊行予定
5	基地内文化財9 －普天間飛行場内試掘調査総括報告書－	宜野湾市 (普天間飛行場内)	羽方誠 知念隆博	－	文化庁 県	平成11～26	令和3年度 刊行予定
6	普天間石川原遺跡・普天間グスクニー遺跡・普天間下原古墓群	宜野湾市 (キャンプ瑞慶覧内)	具志堅清大 照屋匠美	－	沖縄防衛局	平成29～令 和元	令和3年度 刊行予定
7	中城御殿跡(県立博物館跡地)総括報告書	那覇市	田村薫 奥平大貴	－	県土木建築 部(都市公 園課)	平成4～ 6・19～ 24・26～ 29・令和元	令和3年度 刊行予定
8	基地内文化財10 －喜友名前原第三遺跡・喜友名東原第四遺跡－	宜野湾市 (普天間飛行場内)	知念隆博 羽方誠	－	文化庁 県	平成25～26	令和4年度 刊行予定
9	中城御殿跡(首里高校内)・大美御殿跡・首里真和志村跡－首里高校校舎改築に伴う発掘調査(3)－	那覇市	玉城綾 奥平大貴	－	県教育庁施 設課	平成30～令 和4予定	令和5年度 刊行予定
10	楚辺親見原遺跡 楚辺徳地原遺跡	読谷村 (トリエ通信施設内)	瀬戸哲也 廣岡凌	－	沖縄防衛局	令和元～未 定	令和6年度 刊行予定

※分析指導・協力等は令和2年度の実績(報償費・旅費)。

3. 普及・活用

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、当センターは4月10日から5月14日と、8月1日から9月5日の計56日の期間にわたり臨時休所を余儀なくされた。そのため当初予定していた夏休み体験学習と第84回文化講座は、開催中止となった。

しかし開催を予定していた企画展は、会期を一部変更して開催することができた。臨時休所により開催を一時中断していた「首里城正殿跡出土品展」は、会期を延長して6月28日まで開催した。そのため「沖縄県の戦争遺跡～歩いていける戦争遺跡～」と「発掘調査速報2020」は、9月6日から10月4日に開催した。そして10月27日から12月20日には「20周年展～埋文センター20年の歩み～」を開催し、1月26日から3月21日には「首里城京の内跡出土品展～発掘された倉庫跡～」を開催した。

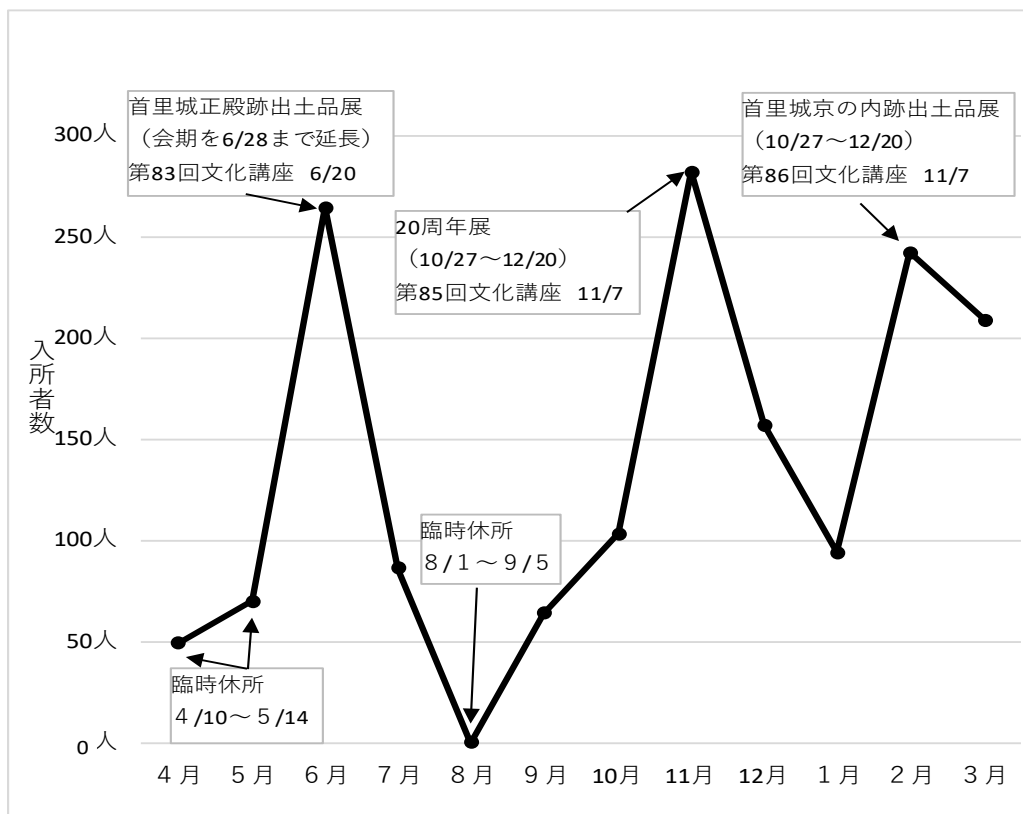
文化講座に関しては、3つの文化講座を開催することができたが、新型コロナウイルス対策のため、事前予約制、定員50名の形で実施することになった。まず6月20日には、沖縄国際大学の上原静教授をお招きして、昨年度開催延期となっていた第83回文化講座を開催した。また11月7日には、当センターの金城亀信、大城慧、盛本勲の3名を講師に、第85回文化講座を開催した。2月14日には、当センターの玉城綾と琉球大学名誉教授の西村貞雄氏による第86回文化講座を開催した。

(1) 入所者一覧

単位：人

月	一般見学						施設利用 ※	総計
	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計		
4月	4	0	0	1	23	28	21	49
5月	4	0	0	8	40	52	18	70
6月	8	1	1	49	113	172	92	264
7月	9	0	1	11	46	67	19	86
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	3	0	1	1	59	64	0	64
10月	6	1	2	5	83	97	6	103
11月	6	4	1	48	130	189	93	282
12月	11	1	0	29	83	124	33	157
1月	8	2	0	3	78	91	3	94
2月	16	4	5	9	164	198	44	242
3月	22	2	1	8	133	166	43	209
合計	97	15	12	172	952	1248	372	1620

※文化講座、資料閲覧、研修室使用等で来所した人数



(2) 団体見学一覧

No	見学月日	曜日	団体名	見学者数 (人)
1	5月6日	木	琉球大学国際地域創造学部	11
2	11月10日	火	琉球大学国際地域創造学部「人類文化入門」①	16
3	11月17日	火	琉球大学国際地域創造学部「人類文化入門」②	16
4	11月24日	火	琉球大学国際地域創造学部「人類文化入門」③	16
5	3月18日	木	うらおそい歴史ガイド友の会	10
合 計				69

(3) 活動実績

①企画展

	名称	期 間	観覧者数 (人)
1	沖縄県の戦争遺跡-歩いていける戦争遺跡-	令和2年9月6日~10月4日	79
2	発掘調査速報2020	令和2年9月6日~10月4日	
3	沖縄県立埋蔵文化財センター開所20周年展「埋文センター20年の歩み」	令和2年10月27日~12月20日	468
4	令和2年度重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展-発掘された倉庫跡-」	令和3年1月26日~3月21日	445
合 計			992

②埋文コレクション

No	名 称	期 間
40	真珠道の頭蓋骨	令和2年3月31日～5月31日
41	暮らしを彩ったガラス瓶	令和2年6月2日～28日
42	沖縄産の藍色の壺	令和2年6月30日～8月2日
43	謎の砂鉄	令和2年9月8日～10月4日
44	いろいろな石斧	令和2年10月6日～11月1日
45	丹波焼	令和2年11月3日～29日
46	円盤状製品	令和2年12月1日～27日
47	先史時代にあった抜歯の風習	令和3年1月5日～31日
48	中国産陶磁器で見つかった「パスパ文字」	令和3年2月2日～28日
49	円覚寺跡出土礎盤	令和3年3月2日～4月4日

③文化講座

回	名 称	日 付	講 師
第83回	琉球文化の象徴、首里城正殿－首里城正殿跡の発掘調査	令和2年6月20日	上原 静
第84回	発掘調査速報2020	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	
第85回	20周年展記念講演	令和2年11月7日	金城亀信、大城慧、盛本勲
第86回	首里城京の内跡出土品展講演、世界遺産登録20周年特別記念講演	令和3年2月14日	玉城綾、西村貞雄

④夏休み体験学習

No	名 称	日 付	参加者数
1	夏休み体験学習「土器作り」	令和2年8月1日（中止）	

⑤出前授業

No	名 称	日 付
1	国頭村立奥小学校、安波小学校、安田小学校	令和2年6月8日



団体見学



団体見学



企画展



文化講座

4. 資料の貸出・利用

(1) 遺物の貸出件数

機関 種類	沖縄県立 博物館・美術館	県内博物館・ 教育委員会	国立 博物館	海外 博物館	その他	小計
通年	1 (1)	8	2	0	0	12
短期	1	4	1	1 (1)	2	10
合 計						22

※ () の数字は、重要文化財の貸出件数。海外博物館は中国への貸出で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現時点での返却の目処はたっていない。

(2) 資料の利用件数

機関 目的	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館・ 教育委員会	国内の大学・ 研究者等	海外の 研究者等	報道機関	その他	小計
遺物閲覧	4	1	16	0	0	4	25
図・写真 の掲載	10	0	5	0	13	21	49
合 計							74

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

なし

(2) 職員派遣

No.	依頼内容	派遣先・依頼機関	期 間	派遣職員
1	令和2年度 第30回 糸数城跡整備委員会	南城市役所・南城市教育委員会	令和2年8月18日	金城亀信
2	令和2年度基礎研究(C)「琉球列島における西欧沈没船遺跡の実態把握と水中遺跡公園化へ向けた基礎的調査」に関する調査	宮古島市・九州大学大学院比較社会文化研究院	令和2年10月17日～20日	片桐千亜紀、 亀島慎吾
3	令和2年度 第31回 糸数城跡整備委員会	南城市役所・南城市教育委員会	令和2年11月10日	金城亀信
4	「古宇利島で沈没したUSSエモンズに関する講演」の講師など	今帰仁村歴史文化センター・今帰仁村教育委員会	令和2年11月11・12日	片桐千亜紀
5	令和2年度 第32回 糸数城跡整備委員会	南城市大里農村環境改善センター・南城市教育委員会	令和3年2月9日	金城亀信
6	令和2年度 糸満市文化財保護委員会(副委員長)	NPO法人糸満海人工房資料館・糸満市教育委員会	令和3年2月10日	金城亀信
7	令和2年度 第33回 糸数城跡整備委員会	南城市役所・南城市教育委員会	令和3年3月4日	金城亀信
8	令和2年度基礎研究(C)「南西諸島の洞窟に認められる旧石器人類遺跡とイベント堆積物の解析」に関する石垣島D洞穴の調査	石垣市・九州大学大学院比較社会文化研究院	令和3年3月13～18日	片桐千亜紀、 具志堅清大、 亀島慎吾

Ⅲ 関係資料

1. 法規

- (1) 沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年5月15日）（抄）
（条例第24号）

最終改正 平成30年7月20日条例第57号

（趣旨）

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、教育機関の設置について、別に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

（埋蔵文化財センター）

第3条 埋蔵文化財（出土品を含む。以下同じ。）の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資するため、埋蔵文化財センターを次のとおり設置する。

名称	位置
沖縄県立埋蔵文化財センター	西原町字上原 193 番地の 7

2 埋蔵文化財センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及に関すること。
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務に関すること。

（職員）

第4条 前2条の教育機関に事務職員その他の所要の職員を置く。

(2) 沖縄県立教育機関組織規則 (昭和47年 5月 15日)
(教育委員会規則第2号) (抄)

最終改正 令和2年3月31日教育委員会規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県立教育機関設置条例(昭和47年沖縄県条例第24号)、沖縄県立離島児童生徒支援センターの設置及び管理に関する条例(平成27年沖縄県条例第51号)及び沖縄県立図書館の設置及び管理に関する条例(平成30年沖縄県条例第57号)に規定する教育機関の組織及び分掌事務その他必要な事項を定めるものとする。

(埋蔵文化財センター)

第4条 沖縄県立埋蔵文化財センター(以下「埋蔵文化財センター」という。)に、次の班を置く。

総務班

調査班

2 総務班の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の管守に関すること。
- (3) 施設設備の管理に関すること。
- (4) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (5) 発掘調査に要する会計年度任用職員の任用に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

3 調査班の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財に関する情報処理に関すること。
- (4) 埋蔵文化財に関する展示、広報及び講演会等に関すること。
- (5) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の貸出し及び利用に関すること。
- (6) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修に関すること。
- (7) 史跡整備に関すること

(3) 沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則 (平成 12年 3月 30日)
教育委員会規則第19号)

最終改正 令和 3年 3月 26 日教育委員会規則第 2 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、沖縄県立埋蔵文化財センター（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(管理の責任)

第 2 条 所長は、埋蔵文化財センターの施設、設備（備品を含む。以下同じ。）を管理し、その整備に努めなければならない。

(諸帳簿)

第 3 条 所長は、施設、設備に関する諸帳簿を整理し、その現有状況を明らかにしておかななければならない。

(施設の損傷等報告)

第 4 条 所長は、火災その他の事由により施設、設備の全部若しくは一部が損傷し、又は亡失した場合には、速やかに教育長に報告し、その指示を受けなければならない。

(警備防災の計画)

第 5 条 所長は、消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 8 条第 1 項の規定により防火管理者を定めたときは、教育長に報告しなければならない。

2 所長は、各年度の始めに警備及び防火その他の防災の計画を作成し、教育長に報告しなければならない。

(当直)

第 6 条 所長は、休日その他正規の勤務時間外において職員に輪番で日直又は宿直職務を命ずることができる。

2 前項に定めるもののほか、宿日直勤務については、職員服務規程（昭和 47 年沖縄県教育委員会訓令第 4 号）の定めるところによる。

(職員の服務等)

第 7 条 職員の服務、勤務時間及び勤務時間の割振りについては、別に定めるところによる。

(文書)

第 8 条 文書の処理については、教育庁文書管理規程（昭和 53 年沖縄県教育委員会訓令第 2 号）の定めるところによる。

(開所時間)

第 9 条 埋蔵文化財センターの開所時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、所長は、特に必要と認めたときはこれを変更することができる。

(休所日)

第 10 条 埋蔵文化財センターの休所日は、次のとおりとする。

(1) 定期休所日 月曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（こどもの日及び文化の日を除く。）

(3) 慰霊の日 6 月 23 日

- (4) 年始休所日 1月2日から1月4日までの日
- (5) 年末休所日 12月28日から12月31日までの日
- (6) 臨時休所日 特別の事情により、所長が休所を必要と認めた日

2 前項第2号及び第3号に規定する休所日が定期休所日に当たるときは、その日の後日において最も近い休所日でない日をもって、これに替えるものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、所長が特に必要と認めた場合は、開所することができる。
(資料の寄贈及び寄託)

第11条 埋蔵文化財センターに、埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料(以下「資料」という。)を寄贈又は寄託しようとする者は、資料寄贈申込書(第1号様式)又は資料寄託申請書(第2号様式)を提出しなければならない。

2 受託を決定したものについては、資料受託承認書(第3号様式)を交付するものとする。

3 前項の規定により、寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。
(寄託資料の保管)

第12条 寄託された資料の管理は、埋蔵文化財センター所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

(寄託資料の返付)

第13条 寄託資料は、寄託者の請求又は埋蔵文化財センターの都合により返付できるものとする。

(経費の負担)

第14条 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、所長が必要と認めた場合はこの限りでない。

第15条 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し又は損傷したときは、埋蔵文化財センターは損害賠償の責を負わない。

(資料の利用)

第16条 埋蔵文化財センター内において資料を利用しようとする者は、資料利用許可申請書(第4号様式)を提出し、所長の許可を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第17条 資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出許可申請書(第5号様式)を提出し、所長の許可を受けなければならない。

2 貸出期間は、60日以内とする。ただし、所長が特に必要と認めたときは、これを延長することができる。

3 この規則に定めるもののほか、資料の貸出しに関し必要な事項は、所長が別に定める。
(入所の禁止等)

第18条 所長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入所を禁じ、又は退所を命ずることができる。

- (1) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障がある行為をするおそれがある者
(施設使用の許可等)

第19条 埋蔵文化財センターの施設(研修室及び会議室)を使用しようとする者は、あらか

じめ施設使用許可申請書（第6号様式）を提出し、所長の許可を受けなければならない。

2 所長は、次の各号のいずれかに該当するもの等、その使用目的が埋蔵文化財センターの設置目的に合致し、住民の教育、学術及び文化の発展に寄与するものと認められない場合には、埋蔵文化財センターの施設の使用を許可することができない。

(1) 専ら営利を目的とするもの

(2) 特定の政党の利害に関するもの又は公務の選挙に関し、特定の候補者を支持するもの

(3) 特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支持するもの

(4) 社会教育上不相当であると認められるもの

(原状回復の義務)

第20条 使用者は、施設の使用を終えたときは、使用に係る施設及び付属設備を原状に復さなければならない。

(損害の賠償)

第21条 観覧者又は使用者が施設、設備及び資料等を損傷し、若しくは紛失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、やむを得ない理由があると認めるときは、所長は、これを減額し又は免除することができる。

(利用状況の報告)

第22条 所長は、埋蔵文化財センターの月別利用状況報告書を翌月10日までに、教育長に提出しなければならない。

(補則)

第23条 この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長の承認を得て所長が定める。

附 則

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成21年3月24日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

2. 収蔵資料の遺跡一覧

No.	遺跡名	市町村
1	安田遺跡	国頭村
2	阿良第二貝塚	国頭村
3	宇佐浜遺跡	国頭村
4	宇佐浜貝塚	国頭村
5	宇佐浜B貝塚	国頭村
6	宇佐浜海岸遺物散布地	国頭村
7	奥川河口遺物散布地	国頭村
8	奥第二貝塚	国頭村
9	奥第四貝塚	国頭村
10	カヤウチバンタ遺跡	国頭村
11	カヤウチバンタ貝塚	国頭村
12	宜名真沖海底遺跡	国頭村
13	佐手貝塚	国頭村
14	謝敷海岸遺物散布地	国頭村
15	田名貝塚	国頭村
16	桃原海岸遺物散布地	国頭村
17	桃原帆原水田遺跡	国頭村
18	辺土名兼久遺物散布地	国頭村
19	イラブチバンタ遺跡	大宜味村
20	上原海岸遺物散布地	大宜味村
21	喜如嘉海岸遺物散布地	大宜味村
22	喜如嘉貝塚	大宜味村
23	田嘉里遺物散布地	大宜味村
24	根謝銘グスク	大宜味村
25	今泊海岸陶磁器散布地	今帰仁村
26	ウチグスク	今帰仁村
27	古宇利原B遺跡	今帰仁村
28	古宇利原C遺跡（大泊遺跡）	今帰仁村
29	シイナグスク	今帰仁村
30	長根原遺跡	今帰仁村
31	今帰仁城跡	今帰仁村
32	西長浜原遺跡	今帰仁村
33	松堂原貝塚	今帰仁村
34	アンチの上貝塚	本部町
35	アンチ原遺跡	本部町
36	兼久原貝塚	本部町
37	具志川御嶽	本部町
38	具志堅貝塚	本部町
39	礎摩原遺跡	本部町
40	瀬底貝塚	本部町
41	瀬底グスク	本部町
42	瀬底島沖海底遺跡	本部町
43	知場塚原遺跡	本部町
44	富盛グスク	本部町
45	浜元貝塚	本部町
46	浜元サチピン貝塚	本部町
47	備瀬貝塚	本部町
48	備瀬ナハヤ遺跡	本部町
49	辺名地遺跡	本部町
50	松部原遺跡	本部町
51	水納島沖海底遺跡	本部町
52	本部具志川森グスク	本部町
53	屋比久原遺跡	本部町

No.	遺跡名	市町村
54	山川垣内権現洞窟	本部町
55	山川港原遺跡	本部町
56	嘉陽貝塚	名護市
57	古我知焼窯跡	名護市
58	湖辺底港遺物散布地	名護市
59	墨屋原遺跡	名護市
60	名護貝塚	名護市
61	熱田貝塚	恩納村
62	熱田第二貝塚	恩納村
63	伊武部貝塚	恩納村
64	久良波貝塚	恩納村
65	塩屋貝塚	恩納村
66	ジムン海岸遺物散布地	恩納村
67	谷茶貝塚	恩納村
68	当袋川河口遺物散布地	恩納村
69	仲泊遺跡	恩納村
70	仲泊貝塚	恩納村
71	富着古島遺跡	恩納村
72	前川河口遺物散布地	恩納村
73	松田遺跡	宜野座村
74	前原貝塚	宜野座村
75	金武グスク	金武町
76	金武鍾乳洞遺跡	金武町
77	屋嘉部落鍛冶屋跡	金武町
78	アキナ原遺跡	伊江村
79	アッチ浜貝塚	伊江村
80	阿良貝塚	伊江村
81	阿良第二貝塚	伊江村
82	阿良東遺跡	伊江村
83	伊江グスク	伊江村
84	親竹鹿化石出土地	伊江村
85	ガデナ原遺跡	伊江村
86	カヤ原遺跡A地点	伊江村
87	カヤ原遺跡B地点	伊江村
88	具志原貝塚	伊江村
89	具志原第二貝塚	伊江村
90	小浜原遺跡	伊江村
91	ハシラ遺跡	伊江村
92	寺コシ遺跡	伊江村
93	ナガラ原西貝塚	伊江村
94	ナガラ原東貝塚	伊江村
95	西江上遺跡	伊江村
96	西崎遺跡	伊江村
97	浜崎貝塚	伊江村
98	東江上遺跡	伊江村
99	フナズ遺跡	伊江村
100	フナズ西遺跡	伊江村
101	馬ノ鼻石器出土地	伊江村
102	湧出海岸陶磁器散布地	伊江村
103	渡り地原遺跡	伊江村
104	アカジャンガー貝塚	うるま市
105	安慶名城跡	うるま市
106	アタナジ洞貝塚	うるま市

No.	遺跡名	市町村	No.	遺跡名	市町村
107	新川グスク	うるま市	161	平安座東ハンタ原遺跡	うるま市
108	伊計大泊遺跡	うるま市	162	平安座西グスク	うるま市
109	伊計貝塚	うるま市	163	平安座グスク	うるま市
110	伊計グスク	うるま市	164	平安名遺跡	うるま市
111	池味貝塚	うるま市	165	平安名第二貝塚	うるま市
112	石川貝塚	うるま市	166	平安名第三貝塚	うるま市
113	石川南貝塚	うるま市	167	南浮原島沖海底遺跡	うるま市
114	伊波貝塚	うるま市	168	美原遺跡	うるま市
115	伊波後原遺跡	うるま市	169	宮城遺跡	うるま市
116	伊波城跡	うるま市	170	藪地貝塚	うるま市
117	伊波東遺跡	うるま市	171	ヤブチ洞穴遺跡	うるま市
118	上江洲貝塚	うるま市	172	ヤブチ洞穴前遺物散布地	うるま市
119	浮原島遺跡	うるま市	173	山城嶽周辺遺物散布地	うるま市
120	宇堅貝塚	うるま市	174	明道遺跡	沖繩市
121	宇堅第二貝塚	うるま市	175	越来グシク	沖繩市
122	宇堅第四貝塚	うるま市	176	竹下遺跡	沖繩市
123	内間部落内遺跡	うるま市	177	知花グシク	沖繩市
124	江洲グスク	うるま市	178	知花遺跡	沖繩市
125	大田貝塚	うるま市	179	桃原洞穴遺跡	沖繩市
126	勝連城跡	うるま市	180	仲宗根貝塚	沖繩市
127	加天良原貝塚	うるま市	181	室川貝塚	沖繩市
128	兼箇段グスク	うるま市	182	八重島貝塚	沖繩市
129	喜屋武グスク	うるま市	183	赤犬子遺跡	読谷村
130	久々釣遺跡	うるま市	184	大当原貝塚	読谷村
131	具志川グスク	うるま市	185	川平原貝塚	読谷村
132	古我地原貝塚	うるま市	186	喜納窯跡	読谷村
133	古我地原内古墓	うるま市	187	座喜味城跡	読谷村
134	昆布貝塚	うるま市	188	長浜貝塚	読谷村
135	神山遺跡	うるま市	189	連道原貝塚	読谷村
136	シヌグ堂遺跡	うるま市	190	嘉手納貝塚	嘉手納町
137	タカビラ原遺跡	うるま市	191	野国貝塚B地点	嘉手納町
138	高嶺遺跡	うるま市	192	屋良グスク	嘉手納町
139	田場遺跡	うるま市	193	インディアン・オーク号の座礁地	北谷町
140	地荒原遺跡	うるま市	194	後兼久原遺跡	北谷町
141	地荒原貝塚	うるま市	195	砂辺サーク原遺跡	北谷町
142	津堅島キガ浜貝塚	うるま市	196	木綿原遺跡	北谷町
143	津堅第二貝塚	うるま市	197	安谷屋グスク	北中城村
144	津堅第三貝塚	うるま市	198	大城グスク	北中城村
145	泊グスク	うるま市	199	荻道遺跡	北中城村
146	仲原遺跡	うるま市	200	荻堂貝塚	北中城村
147	ナチジングスク	うるま市	201	甲斐川原遺跡	北中城村
148	苦増原遺跡	うるま市	202	ヒニグスク	北中城村
149	西門原遺跡	うるま市	203	若松遺跡	北中城村
150	饒辺貝塚	うるま市	204	新垣グスク	中城村
151	南風原古島遺跡	うるま市	205	上津覇遺跡	中城村
152	浜貝塚	うるま市	206	中城城跡	中城村
153	浜比嘉中の御嶽洞窟遺跡	うるま市	207	登又遺跡	中城村
154	浜比嘉浜川洞窟遺跡	うるま市	208	イシグスク	西原町
155	浜比嘉はまちゃん洞窟遺跡	うるま市	209	内間御殿	西原町
156	浜比嘉ミーハンチャー洞窟遺跡	うるま市	210	我謝遺跡	西原町
157	比嘉グスク	うるま市	211	棚原グスク	西原町
158	平敷屋トウバル遺跡	うるま市	212	与那城貝塚	西原町
159	平敷屋古島遺跡	うるま市	213	与那城散布地	西原町
160	平安座東グスク	うるま市	214	安仁屋東原古墓群	宜野湾市

No.	遺跡名	市町村	No.	遺跡名	市町村
215	安仁屋トウシヤマ遺跡	宜野湾市	269	御茶屋御殿跡	那覇市
216	新城大道原第二遺跡	宜野湾市	270	円覚寺跡	那覇市
217	新城大道原第三遺跡	宜野湾市	271	大嶺村跡	那覇市
218	新城下原第二遺跡	宜野湾市	272	御物グスク	那覇市
219	伊佐上原遺跡群	宜野湾市	273	鏡水箕隅原A遺跡	那覇市
220	伊佐後原第二遺跡	宜野湾市	274	城岳貝塚	那覇市
221	伊佐前原古墓群	宜野湾市	275	崎樋川貝塚	那覇市
222	伊佐前原第一遺跡	宜野湾市	276	識名園	那覇市
223	大謝名軍花原第一遺跡	宜野湾市	277	識名貝塚	那覇市
224	大謝名軍花原第二遺跡	宜野湾市	278	識名シーマ御嶽遺跡	那覇市
225	大山貝塚	宜野湾市	279	識名原遺跡	那覇市
226	大山加良当原第四遺跡	宜野湾市	280	首里城跡 東のアザナ地区	那覇市
227	大山勢頭原第三遺跡	宜野湾市	281	首里城跡 東のアザナ北地区	那覇市
228	大山岳之佐久原第一遺跡	宜野湾市	282	首里城跡 上の毛及び周辺地区	那覇市
229	大山東方丘陵古墓群	宜野湾市	283	首里城跡 西のアザナ地区	那覇市
230	大山富盛原第二遺跡	宜野湾市	284	首里城跡 右掖門及び周辺地区	那覇市
231	大山芋久保原第一遺跡	宜野湾市	285	首里城跡 御庭跡・奉神門跡	那覇市
232	神山黒数原古墓群	宜野湾市	286	首里城跡 御内原地区	那覇市
233	神山黒数原第一遺跡	宜野湾市	287	首里城跡 御内原北地区	那覇市
234	神山黒数原第二遺跡	宜野湾市	288	首里城跡 御内原西地区	那覇市
235	神山古集落	宜野湾市	289	首里城跡 御内原東地区	那覇市
236	喜友名東原第三遺跡	宜野湾市	290	首里城跡 大台所、料理座地区	那覇市
237	喜友名東原第四遺跡	宜野湾市	291	首里城跡 歓会門・久慶門地区	那覇市
238	喜友名アジミー洞穴遺跡	宜野湾市	292	首里城跡 管理用道路地区	那覇市
239	喜友名西原遺跡	宜野湾市	293	首里城跡 京の内地区	那覇市
240	喜友名泉石畳道	宜野湾市	294	首里城跡 黄金御殿地区	那覇市
241	喜友名貝塚	宜野湾市	295	首里城跡 城の下地区	那覇市
242	喜友名グスク	宜野湾市	296	首里城跡 継世門周辺地区	那覇市
243	喜友名古水田跡	宜野湾市	297	首里城跡 継世門北地区	那覇市
244	喜友名下原第一遺跡	宜野湾市	298	首里城跡 下之御庭首里森御嶽	那覇市
245	喜友名下原第二遺跡	宜野湾市		首里城跡 下之御庭跡・用物座	
246	喜友名前原第二遺跡	宜野湾市	299	跡・瑞泉門跡・漏刻門跡・廣福門	那覇市
247	喜友名前原第三遺跡	宜野湾市		跡・木曳門跡	
248	喜友名山川原第三遺跡	宜野湾市	300	首里城跡 淑順門地区	那覇市
249	喜友名山川原第七遺跡	宜野湾市	301	首里城跡 淑順門西・奉神門埋	那覇市
250	喜友名山川原丘陵古墓群	宜野湾市		窺地区	
251	普天間石川原遺跡	宜野湾市	302	首里城跡 淑順門東地区	那覇市
252	普天間石川原第二遺跡	宜野湾市	303	首里城跡 守礼門東側地区・	那覇市
253	普天間旧道路	宜野湾市		真珠道跡起点及び周辺地区	
254	普天間宮洞穴遺跡	宜野湾市	304	首里城跡 書院・鎖之間地区	那覇市
255	普天間後原第二遺跡	宜野湾市	305	首里城跡 城郭南側下地区	那覇市
256	普天間古集落遺跡	宜野湾市	306	首里城跡 正殿地区	那覇市
257	普天間下原第二遺跡	宜野湾市	307	首里城跡 銭蔵地区	那覇市
258	拝山遺跡	浦添市	308	首里城跡 銭蔵東地区	那覇市
259	浦添貝塚	浦添市	309	首里城跡 南殿・北殿跡	那覇市
260	浦添城跡	浦添市	310	首里城跡 二階殿地区	那覇市
261	城間第一洞穴遺跡	浦添市	311	首里当蔵旧水路	那覇市
262	沢岬遺跡	浦添市	312	玉陵殿	那覇市
263	牧港貝塚	浦添市	313	天界寺跡	那覇市
264	牧港第二貝塚	浦添市	314	鳥堀瓦窯跡	那覇市
265	真久原遺跡	浦添市	315	中城御殿跡	那覇市
266	綾門大道跡	那覇市	316	中城御殿跡（首里高校内）	那覇市
267	東村跡	那覇市	317	ナカンダカリヤマの古墓群	那覇市
268	天久貝塚	那覇市	318	波上洞穴遺跡	那覇市

No.	遺跡名	市町村
319	真珠道跡	那覇市
320	松崎馬場跡	那覇市
321	山川貝塚	那覇市
322	山下町第一洞穴遺跡	那覇市
323	龍潭・ハンタン山	那覇市
324	湧田古窯跡 会議棟	那覇市
325	湧田古窯跡 行政棟	那覇市
326	湧田古窯跡 警察棟	那覇市
327	湧田古窯跡 県民広場地下 駐車場	那覇市
328	渡地村跡	那覇市
329	平良グスク	豊見城市
330	高嶺古島遺跡	豊見城市
331	長嶺グスク	豊見城市
332	保栄茂グスク	豊見城市
333	真玉橋	豊見城市
334	阿波根グスク	糸満市
335	阿波根古島遺跡	糸満市
336	新垣グスク	糸満市
337	伊敷グスク	糸満市
338	伊敷轟洞穴遺跡	糸満市
339	石原グスク	糸満市
340	稲嶺屋取遺跡	糸満市
341	伊原遺跡	糸満市
342	伊原グスク	糸満市
343	宇栄城グスク	糸満市
344	上里グスク	糸満市
345	大城森グスク	糸満市
346	奥間グスク	糸満市
347	兼城貝塚	糸満市
348	川田原貝塚	糸満市
349	喜屋武貝塚	糸満市
350	喜屋武古グスク	糸満市
351	国吉グスク	糸満市
352	国吉坂石器片散布地	糸満市
353	米須貝塚	糸満市
354	シリーズ殿遺跡	糸満市
355	照屋グスク	糸満市
356	波平グスク	糸満市
357	フェンサ城貝塚	糸満市
358	真栄里貝塚	糸満市
359	真栄里グスク	糸満市
360	与座グスク	糸満市
361	和解森遺跡	糸満市
362	新城グスク	八重瀬町
363	上グスク	八重瀬町
364	ガラビ壕遺跡	八重瀬町
365	具志頭グスク	八重瀬町
366	ジリグスク	八重瀬町
367	テミグラグスク	八重瀬町
368	マーガヌ殿遺跡	八重瀬町
369	八重瀬グスク	八重瀬町
370	与古田屋原貝塚	八重瀬町

No.	遺跡名	市町村
371	世名城グスク	八重瀬町
372	熱田原貝塚	南城市
373	伊敷浜貝塚	南城市
374	糸数城跡	南城市
375	キナグナーワンダー遺跡	南城市
376	稲福遺跡	南城市
377	御殿庭遺跡	南城市
378	大城グスク	南城市
379	大嶽貝塚	南城市
380	喜良原遺跡	南城市
381	具志堅ウーヅ洞穴遺跡	南城市
382	久高貝塚	南城市
383	久手堅殿遺物散布地	南城市
384	蔵屋敷遺跡	南城市
385	クルク原貝塚	南城市
386	佐敷グスク	南城市
387	志喜屋公民館周辺遺物散布地	南城市
388	シマシヤーマ貝塚	南城市
389	ソージ(寒水)グスク	南城市
390	玉城城跡	南城市
391	知念城跡	南城市
392	仲栄真グスク	南城市
393	ヒジへ浜貝塚	南城市
394	百名第二貝塚	南城市
395	船越A遺跡	南城市
396	船越グスク	南城市
397	古間グスク(カンチャグスク)	南城市
398	堀川貝塚	南城市
399	前川貝塚	南城市
400	新原貝塚	南城市
401	新原第一貝塚	南城市
402	ミントングスク	南城市
403	ヤグル貝塚	南城市
404	ヤローヤ洞穴遺跡	南城市
405	板良敷ノロ殿	与那原町
406	大見武殿	与那原町
407	島ノ上原遺跡	与那原町
408	クニンドー遺跡	南風原町
409	宇江城城跡	久米島町
410	ウルル貝塚	久米島町
411	オーハ島東奥武海底遺跡	久米島町
412	大原貝塚	久米島町
413	大原第二貝塚	久米島町
414	カンジン原古墓群	久米島町
415	北原貝塚	久米島町
416	具志川城跡	久米島町
417	久根グスク	久米島町
418	クニグスク	久米島町
419	下地原洞穴遺跡	久米島町
420	島尻古島遺跡	久米島町
421	清水貝塚	久米島町
422	下地原洞穴遺跡	久米島町
423	謝名堂貝塚	久米島町

No.	遺跡名	市町村	No.	遺跡名	市町村
424	白瀬川河口遺物散布地	久米島町	477	東遺物散布地	栗国村
425	塩原グスク	久米島町	478	松尾原洞穴遺跡	栗国村
426	銭田貝塚	久米島町	479	アーカル原遺跡	渡名喜村
427	チャラのクブ遺跡	久米島町	480	大道原遺跡	渡名喜村
428	泊貝塚	久米島町	481	里遺跡	渡名喜村
429	登武那覇グスク	久米島町	482	西底原遺跡	渡名喜村
430	ナカノ浜海底遺跡	久米島町	483	東貝塚	渡名喜村
431	仲村渠古島遺跡	久米島町	484	アシチ原遺跡	伊平屋村
432	東奥武海底遺跡	久米島町	485	石蔵川貝塚	伊平屋村
433	真謝港遺物散布地	久米島町	486	上里遺跡	伊平屋村
434	ミレー原遺跡	久米島町	487	ウンナ原遺跡	伊平屋村
435	ヤジヤーガマ遺跡	久米島町	488	我喜屋遺跡	伊平屋村
436	ヤッチのガマ	久米島町	489	グーサンナ森遺跡	伊平屋村
437	山城遺跡	久米島町	490	久里原貝塚	伊平屋村
438	山玉グスク	久米島町	491	島尻第一遺跡	伊平屋村
439	アーガー（リルカファ）遺物散布地	渡嘉敷村	492	島尻第二遺跡	伊平屋村
440	東上原遺跡	渡嘉敷村	493	瀧川原貝塚	伊平屋村
441	阿波連浦貝塚	渡嘉敷村	494	田茂原遺跡	伊平屋村
442	阿波連貝塚	渡嘉敷村	495	瀧川原遺跡	伊平屋村
443	阿波連集落周辺遺物散布地	渡嘉敷村	496	田名西貝塚	伊平屋村
444	アリガヌワラ遺物散布地	渡嘉敷村	497	テライ原西海岸遺物散布地	伊平屋村
445	神山島灯台付近遺物散布地	渡嘉敷村	498	トウロウ遺物散布地	伊平屋村
446	旧前島集落	渡嘉敷村	499	トゥンチ山遺跡	伊平屋村
447	ジーツプヌクシ遺物散布地	渡嘉敷村	500	野甫貝塚	伊平屋村
448	東川上御嶽（テラガイ）周辺遺物散布地	渡嘉敷村	501	野甫島北海岸遺物散布地	伊平屋村
449	渡嘉敷河口川口遺物散布地	渡嘉敷村	502	東原貝塚	伊平屋村
450	渡嘉敷集落周辺遺物散布地	渡嘉敷村	503	アギギタラ貝塚	伊是名村
451	渡嘉志久貝塚	渡嘉敷村	504	伊是名ウフジカ遺跡	伊是名村
452	パンリグチ遺物散布地	渡嘉敷村	505	伊是名貝塚	伊是名村
453	船越原遺跡	渡嘉敷村	506	伊是名貝塚B地点	伊是名村
454	船越原の石切り場	渡嘉敷村	507	伊是名グスク周辺遺物散布地	伊是名村
455	ヘイジョーグワァー遺物散布地	渡嘉敷村	508	伊是名城跡	伊是名村
456	阿嘉貝塚	座間味村	509	伊是名元島遺跡	伊是名村
457	阿護の浦海底遺跡	座間味村	510	伊是名龍神洞遺跡	伊是名村
458	阿佐遺物散布地	座間味村	511	内花海岸遺物散布地	伊是名村
459	阿真遺物散布地	座間味村	512	内花貝塚	伊是名村
460	阿真の古墓群	座間味村	513	親畑貝塚	伊是名村
461	安室貝塚	座間味村	514	具志川島遺跡群	伊是名村
462	ウタハ貝塚	座間味村	515	岩立遺跡	伊是名村
463	ウフタ遺物散布地	座間味村	516	勢理客貝塚	伊是名村
464	嘉比北遺物散布地	座間味村	517	タチハ原遺跡	伊是名村
465	グスク山	座間味村	518	タチャー遺跡	伊是名村
466	慶留間遺跡	座間味村	519	仲田貝塚	伊是名村
467	慶留間の古墓群	座間味村	520	屋那覇島遺跡群	伊是名村
468	座間味貝塚	座間味村	521	屋那覇島の石切場跡	伊是名村
469	シルグスク	座間味村	522	アラスト遺物散布地	宮古島市
470	ソングスク（積城）	座間味村	523	石原城遺跡	宮古島市
471	古座間味貝塚	座間味村	524	成川井遺跡	宮古島市
472	大和馬遺物散布地	座間味村	525	伊良部西元島遺跡	宮古島市
473	八重川グスク	栗国村	526	伊良部東元島遺跡	宮古島市
474	巢飼原貝塚	栗国村	527	伊良部元島遺跡	宮古島市
475	西御願貝塚	栗国村	528	上ヌ頂遺跡	宮古島市
476	浜崎原遺跡	栗国村	529	上原遺跡	宮古島市
			530	上比屋山遺跡	宮古島市

No.	遺跡名	市町村	No.	遺跡名	市町村
531	上地カナイダ遺跡	宮古島市	585	天川遺跡	多良間村
532	大浦多志遺跡	宮古島市	586	運城御嶽遺跡	多良間村
533	浦底遺跡	宮古島市	587	大道遺跡	多良間村
534	砂川元島遺跡	宮古島市	588	嘉服第一遺跡	多良間村
535	オイオキ原遺跡	宮古島市	589	嘉服第二遺跡	多良間村
536	大神遺跡	宮古島市	590	塩川井遺跡	多良間村
537	大牧遺跡	宮古島市	591	白嶺貝塚	多良間村
538	喜佐真御嶽遺跡	宮古島市	592	高田海岸沖海底遺跡	多良間村
539	国仲元島遺跡	宮古島市	593	多良間神社遺跡	多良間村
540	来間遺跡	宮古島市	594	ナーラディー山遺跡	多良間村
541	来間島沖海底遺跡	宮古島市	595	波利真遺跡	多良間村
542	サガーニ遺跡	宮古島市	596	パリマガー遺跡	多良間村
543	塩川御嶽遺跡	宮古島市	597	嶺間遺跡	多良間村
544	船立堂遺跡	宮古島市	598	土原遺跡	多良間村
545	尻並遺跡	宮古島市	599	アラスク村遺跡	石垣市
546	島尻元島遺跡	宮古島市	600	石城山遺跡	石垣市
547	塩川井遺跡	宮古島市	601	伊野田遺跡	石垣市
548	新里西元島遺跡	宮古島市	602	伊原間湾遺物散布地	石垣市
549	新里東元島遺跡	宮古島市	603	ウイズ遺跡	石垣市
550	新里元島上方台地遺跡	宮古島市	604	ウイヌズ遺跡	石垣市
551	新生遺跡	宮古島市	605	大田兼久遺跡	石垣市
552	洲鎌遺跡	宮古島市	606	大田原遺跡	石垣市
553	スバネートウ墓遺跡	宮古島市	607	カーフ山遺跡	石垣市
554	住屋遺跡	宮古島市	608	川平貝塚	石垣市
555	高腰城跡	宮古島市	609	川平底地遺跡	石垣市
556	多良間添道遺跡	宮古島市	610	嘉良嶽貝塚	石垣市
557	友利遺跡	宮古島市	611	嘉良嶽東方古墓群	石垣市
558	友利元島遺跡	宮古島市	612	嘉良嶽東貝塚	石垣市
559	ナーラディー山遺跡	宮古島市	613	嘉良嶽東方古墓古墓群	石垣市
560	長間底遺跡	宮古島市	614	神田貝塚	石垣市
561	西銘城跡	宮古島市	615	カンドウ原遺跡	石垣市
562	野城遺跡	宮古島市	616	喜田盛遺跡	石垣市
563	波栄真遺跡	宮古島市	617	クードー遺跡	石垣市
564	パリマガー遺跡	宮古島市	618	クバ御嶽	石垣市
565	東仲宗根遺物散布地（二重越）	宮古島市	619	グンソーミヤーカ遺跡	石垣市
566	ピンザアブ洞穴	宮古島市	620	竿若東遺跡	石垣市
567	フカイ原遺跡	宮古島市	621	シタダル遺跡	石垣市
568	保里遺跡	宮古島市	622	白保貝塚	石垣市
569	船立堂遺跡	宮古島市	623	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市
570	保良前方原遺跡	宮古島市	624	伝盛山村跡遺跡	石垣市
571	保良元島遺跡	宮古島市	625	桃里恩田遺跡	石垣市
572	牧中御嶽遺跡	宮古島市	626	通事氏宅地内勾玉・石斧出土地	石垣市
573	牧の頂遺跡	宮古島市	627	仲筋貝塚	石垣市
574	ミズマ御嶽遺跡	宮古島市	628	仲筋第二遺跡	石垣市
575	嶺間遺跡	宮古島市	629	仲本村跡遺跡	石垣市
576	宮国元島遺跡	宮古島市	630	名蔵貝塚群	石垣市
577	宮国元島上方古墓群	宮古島市	631	名蔵瓦窯跡	石垣市
578	箕島遺跡	宮古島市	632	名蔵シタダル遺跡	石垣市
579	八重山遠見台	宮古島市	633	皆野宿岡遺跡	石垣市
580	八重干瀬海底遺跡群第1地点	宮古島市	634	パイナーカー遺跡	石垣市
581	八重干瀬海底遺跡群第2地点	宮古島市	635	平得仲本御嶽遺跡	石垣市
582	八重干瀬海底遺跡群第3地点	宮古島市	636	平久保御嶽遺跡	石垣市
583	吉野海岸沖海底遺跡	宮古島市	637	平地原遺跡	石垣市
584	与那覇遺跡	宮古島市	638	平野後方岩陰遺跡	石垣市

No.	遺跡名	市町村	No.	遺跡名	市町村
639	平野後方第一遺跡	石垣市	693	伝オヤケアカハチ生誕の地	竹富町
640	平野後方第二遺跡	石垣市	694	シムス村跡遺跡	竹富町
641	ピロースク遺跡	石垣市	695	伝フザトウ村跡遺跡	竹富町
642	フーネ遺跡群	石垣市	696	伝ペーミシユク村跡遺跡	竹富町
643	吹通川第二貝塚	石垣市	697	伝マシユク村跡遺跡	竹富町
644	フクブクイーザー(洞窟)遺跡	石垣市	698	伝ミシユク村跡遺跡	竹富町
645	富崎貝塚	石垣市	699	伝ヤグ村跡遺跡	竹富町
646	舟蔵貝塚	石垣市	700	豊見親城遺跡	竹富町
647	船越貝塚	石垣市	701	ナーマヤーヤシキ(ナーマ屋敷跡)	竹富町
648	舟路石前遺跡	石垣市	702	名石御嶽周辺遺跡	竹富町
649	フルスト原遺跡	石垣市	703	ナカツイ遺跡	竹富町
650	平喜名遺跡	石垣市	704	中野西崎遺跡	竹富町
651	マンゲー山遺跡群	石垣市	705	仲間第一貝塚	竹富町
652	宮良第一遺跡	石垣市	706	仲間第二貝塚	竹富町
653	宮良第二遺跡	石垣市	707	仲本村跡遺跡	竹富町
654	宮良第三遺跡	石垣市	708	中森貝塚	竹富町
655	宮良第四遺跡	石垣市	709	ナンザト遺跡	竹富町
656	宮良湾海底遺跡	石垣市	710	ニシヌブシヌヤー	竹富町
657	安良海岸遺物散布地	石垣市	711	ニシンダ原貝塚	竹富町
658	山原貝塚	石垣市	712	南風見貝塚	竹富町
659	ヤマバレー遺跡	石垣市	713	花城村跡遺跡	竹富町
660	吉野遺跡	石垣市	714	平西貝塚	竹富町
661	米原海岸遺物散布地	石垣市	715	フージャヌクミ遺跡	竹富町
662	アールウガン	竹富町	716	大底御嶽周辺遺跡	竹富町
663	網取遺跡	竹富町	717	フカスク遺跡	竹富町
664	フカスク遺跡	竹富町	718	ブシンヤー	竹富町
665	アラスク遺跡	竹富町	719	船浮遺跡	竹富町
666	新本御嶽周辺遺跡	竹富町	720	船浦遺跡	竹富町
667	イナサイ遺跡	竹富町	721	船浦スラ所跡	竹富町
668	ンブフル遺跡	竹富町	722	星立部落内遺跡	竹富町
669	上原宇奈利遺跡	竹富町	723	保多盛御嶽周辺遺跡	竹富町
670	上原貝塚	竹富町	724	ポンヤマー遺跡	竹富町
671	上原部落内遺跡	竹富町	725	美底御嶽周辺遺跡	竹富町
672	上村遺跡	竹富町	726	ヤッサ島遺跡	竹富町
673	ウティスク山遺跡	竹富町	727	ユンドゥレースク遺跡	竹富町
674	浦内遺跡	竹富町	728	与那良遺跡	竹富町
675	大泊浜貝塚	竹富町	729	ンブフル(グサンツル)遺跡	竹富町
676	カイジ浜貝塚	竹富町	730	上里遺跡	与那国町
677	嘉弥真遺跡	竹富町	731	浦野遺跡	与那国町
678	旧ヒナイ部落遺跡	竹富町	732	大泊浜貝塚	与那国町
679	慶来慶田城遺跡	竹富町	733	嘉田地区古墓群	与那国町
680	小浜旧部落遺跡	竹富町	734	慶田崎遺跡	与那国町
681	小浜島北海岸遺物散布地	竹富町	735	サンアイソバ生誕の地	与那国町
682	古見赤石崎遺跡	竹富町	736	サンバル村跡遺跡	与那国町
683	古見スラ所跡	竹富町	737	島仲村跡遺跡	与那国町
684	サキバル遺跡	竹富町	738	潮原古墓群	与那国町
685	下田原貝塚	竹富町	739	伝サガムトゥ村跡遺跡	与那国町
686	新里村遺跡	竹富町	740	トゥグル浜遺跡	与那国町
687	石西礁湖海底遺跡群第1地点	竹富町	741	与那原遺跡	与那国町
688	石西礁湖海底遺跡群第3地点	竹富町	742	ナガト遺跡	与那国町
689	祖納マエドマリ沖海底遺跡	竹富町	743	西真嘉遺跡	与那国町
690	高那村跡遺跡	竹富町	744	ヤマトバカ遺跡	与那国町
691	トゥマール貝塚(トマリ貝塚)	竹富町	745	ンダン遺跡	与那国町
692	伝ウツォウ村跡遺跡	竹富町			

3. 刊行物一覧

(1) 発掘調査報告書

シリーズ	報告書名	刊行年月
第1集	首里城跡—管理用道路地区発掘調査報告書—	2001 (平成13) 年3月
第2集	天界寺跡 (I) —首里杜館地下駐車場入り口新設工事に伴う緊急発掘調査—	2001 (平成13) 年3月
第3集	首里城跡—下之御庭跡・用物座跡・瑞泉門跡・漏刻門跡・廣福門跡・木曳門跡発掘調査報告書—	2001 (平成13) 年3月
第4集	伊佐前原第一遺跡—宜野湾北中城線 (伊佐～普天間) 道路改築事業に伴う緊急発掘調査報告書 (III) —	2001 (平成13) 年3月
第5集	沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (I) —南部編—	2001 (平成13) 年3月
第6集	ヤッチのガマ・カンジン原古墓群—県営かんがい排水事業 (カンジン地区) に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—	2001 (平成13) 年12月
第7集	新里元島上方台地遺跡 新里東元島遺跡—県道保良上地線 (友利～上地) 道路新設改良事業に伴う緊急発掘調査報告書—	2002 (平成14) 年3月
第8集	天界寺跡 (II) —首里城公園管理棟新設工事に伴う緊急発掘調査—	2002 (平成14) 年3月
第9集	首里城跡—継世門周辺地区発掘調査報告書—	2002 (平成14) 年3月
第10集	円覚寺跡—遺構確認調査報告書—	2002 (平成14) 年3月
第11集	基地内文化財 II —基地内埋蔵文化財分布調査概要—	2002 (平成14) 年3月
第12集	沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (II) —中部編—	2002 (平成14) 年3月
第13集	綾門大道跡—首里城跡守礼門周辺地区発掘調査報告書—	2003 (平成15) 年3月
第14集	首里城跡—右掖門及び周辺地区発掘調査報告書—	2003 (平成15) 年3月
第15集	尻並遺跡—那覇地方裁判所平良支部建て替えに伴う発掘調査—	2003 (平成15) 年3月
第16集	沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (III) —北部編—	2003 (平成15) 年3月
第17集	御茶屋御殿跡—遺構確認調査報告書—	2003 (平成15) 年3月
第18集	首里城跡—城の下地区発掘調査報告書—	2004 (平成16) 年3月
第19集	首里城跡—城郭南側下地区発掘調査報告書—	2004 (平成16) 年3月
第20集	首里城跡—東のアザナ地区発掘調査報告書—	2004 (平成16) 年3月
第21集	与那国島 嘉田地区古墓群—嘉田地区ほ場整備事業に伴う緊急発掘調査報告書—	2004 (平成16) 年3月
第22集	後兼久原遺跡—米軍送油管移設に係る緊急発掘調査報告書—	2004 (平成16) 年3月
第23集	新石垣空港予定地内遺跡詳細分布調査	2004 (平成16) 年3月
第24集	基地内文化財 III —基地内埋蔵文化財分布調査概要 (平成14・15年度) —	2004 (平成16) 年3月
第25集	沖縄県戦争遺跡詳細分布調査 (IV) —本島周辺離島及び那覇市編—	2004 (平成16) 年3月
第26集	ナカンダカリヤマの古墓群—急傾斜地崩壊危険区域内擁壁工事に伴う発掘調査報告書—	2005 (平成17) 年3月
第27集	首里城跡—上の毛及び周辺地区発掘調査報告書—	2005 (平成17) 年3月
第28集	首里城跡—書院・鎖之間地区発掘調査報告書—	2005 (平成17) 年3月
第29集	首里城跡—二階殿地区発掘調査報告書—	2005 (平成17) 年3月

シリーズ	報告書名	刊行年月
第30集	沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅴ）－宮古諸島編－	2005（平成17）年3月
第31集	沖縄科学技術大学院大学（仮称）建設予定地内の遺跡（Ⅰ） －埋蔵文化財予備調査（表面踏査）報告－	2005（平成17）年5月
第32集	真珠道跡－首里城跡真珠道地区発掘調査報告書（Ⅰ）－	2006（平成18）年3月
第33集	首里城跡－淑順門地区発掘調査報告書－	2006（平成18）年3月
第34集	首里城跡－御内原地区発掘調査報告書－	2006（平成18）年3月
第35集	新城下原第二遺跡－キャンプ瑞慶覧内整備工場建設に係る緊急発掘調査報告－	2006（平成18）年3月
第36集	沖縄科学技術大学院大学（仮称）建設予定地内の遺跡（Ⅱ） －埋蔵文化財予備調査（試掘・確認調査）報告－	2006（平成18）年3月
第37集	沿岸地域遺跡分布調査概報（Ⅰ）－沖縄本島・周辺離島編－	2006（平成18）年3月
第38集	基地内文化財Ⅳ－平成15・16年度基地内埋蔵文化財分布調査概要－	2006（平成18）年3月
第39集	西長浜原遺跡－範囲確認調査報告書－	2006（平成18）年3月
第40集	御茶屋御殿跡－平成15・16・17年度遺構確認調査報告書－	2006（平成18）年3月
第41集	沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅵ）－八重山諸島編－	2006（平成18）年3月
第42集	真珠道跡－首里城跡真珠道地区発掘調査報告書（Ⅱ）－	2007（平成19）年3月
第43集	与那国島 潮原古墓群－与那国空港拡張工事に係る緊急発掘調査報告－	2007（平成19）年3月
第44集	首里城跡－御内原西地区発掘調査報告書－	2007（平成19）年3月
第45集	首里城跡－黄金御殿地区発掘調査報告書－	2007（平成19）年3月
第46集	渡地村跡－臨海道路那覇1号線整備に伴う緊急発掘調査報告 －	2007（平成19）年7月
第47集	首里城跡－下之御庭首里森御嶽地区発掘調査報告書－	2008（平成20）年3月
第48集	真珠道跡－首里城跡真珠道地区発掘調査報告書（Ⅲ）－	2008（平成20）年3月
第49集	首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（Ⅱ）－	2009（平成21）年3月
第50集	嘉良嶽貝塚・嘉良嶽東方古墓群－新石垣空港予定地内遺跡発掘調査報告書－	2009（平成21）年3月
第51集	首里城跡・真珠道跡－首里城跡守礼門東側地区・真珠道跡起点及び周辺地区発掘調査報告書－	2009（平成21）年3月
第52集	沿岸地域遺跡分布調査概報（Ⅱ）－宮古・八重山諸島編－	2009（平成21）年3月
第53集	中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書（Ⅰ）－	2010（平成22）年3月
第54集	首里城跡－御内原北地区発掘調査報告書（Ⅰ）－	2010（平成22）年3月
第55集	沿岸地域遺跡分布調査概報（Ⅲ）－遺跡地区・概要編－ － 普天間飛行場内遺跡地区（中間報告）	2010（平成22）年3月
第56集	首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（Ⅲ）－平成6年度調査の遺構編	2011（平成23）年3月
第57集	鏡水箕隅原A遺跡－那覇西道路建設に伴う発掘調査報告書－	2011（平成23）年3月
第58集	中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書（2）－	2011（平成23）年3月
第59集	喜田盛遺跡	2011（平成23）年3月

シリーズ	報告書名	刊行年月
第60集	沖縄県伊是名村 具志川島遺跡群発掘調査概要報告書	2011 (平成23) 年3月
第61集	基地内文化財5-普天間飛行場内範囲確認調査 喜友納前原第三遺跡 喜友納東原第三遺跡-	2011 (平成23) 年3月
第62集	首里城跡-京の内跡発掘調査報告書 (IV) -平成6年度調査の遺物編 (1)	2012 (平成24) 年3月
第63集	中城御殿跡-県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書 (3) -	2011 (平成23) 年4月
第64集	具志川島遺跡群-保存・活用のための発掘調査報告-	2012 (平成24) 年4月
第65集	白保竿根田原洞穴遺跡-新石垣空港建設工事に伴う緊急発掘調査報告書-	2013 (平成25) 年3月
第66集	宮国元島上方古墓群-県道保良上地線道路改良工事に伴う発掘調査報告書-	2013 (平成25) 年3月
第67集	中城御殿跡-県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書 (4) -	2013 (平成25) 年3月
第68集	首里城跡-淑順門西地区・奉神門埋甕地区発掘調査報告書-	2013 (平成25) 年3月
第69集	首里城跡-御内原北地区発掘調査報告書 (2) -	2013 (平成25) 年3月
第70集	円覚寺跡 (2) -右掖門地区・南側石牆地区の遺構確認調査報告書-	2014 (平成26) 年3月
第71集	基地内文化財6-平成18・19・20年度 普天間飛行場内試掘調査-	2014 (平成26) 年3月
第72集	首里城跡-淑順門東地区発掘調査報告書-	2014 (平成26) 年3月
第73集	首里城跡-京の内跡発掘調査報告書 (V) -平成6年度調査の遺物編 (2)	2014 (平成26) 年3月
第74集	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書 1-普天間古集落遺跡-	2015 (平成27) 年3月
第75集	沖縄県の戦争遺跡-平成22~26年度戦争遺跡詳細確認調査報告書-	2015 (平成27) 年3月
第76集	基地内文化財7-大山加良当原第四遺跡確認調査 神山黒数原古墓群分布調査- 付編:沖縄県における駐留軍用地内の埋蔵文化財取扱い方針	2015 (平成27) 年3月
第77集	首里城跡-銭蔵地区発掘調査報告書-	2015 (平成27) 年3月
第78集	首里城跡-大台所、料理座地区周辺発掘調査報告書-	2015 (平成27) 年3月
第79集	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書 2-普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間下原第二遺跡・普天間石川原遺跡-	2015 (平成27) 年3月
第80集	首里城跡-銭蔵東地区発掘調査報告書-	2016 (平成28) 年2月
第81集	慶良間諸島の遺跡-平成22~27年度県内遺跡詳細分布調査報告書-	2016 (平成28) 年3月
第82集	首里城跡-正殿地区発掘調査報告書-	2016 (平成28) 年3月
第83集	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書 3-普天間古集落遺跡-	2016 (平成28) 年3月
第84集	中城御殿跡-県営首里城公園 中城御殿跡発掘調査報告書 (5) -	2016 (平成28) 年3月

シリーズ	報告書名	刊行年月
第85集	白保竿根田原洞穴遺跡－重要遺跡範囲確認調査報告書1－ 事実報告編－	2017（平成29）年3月
第86集	白保竿根田原洞穴遺跡重要遺跡範囲確認調査報告書2－総 括報告編－	2017（平成29）年3月
第87集	沖縄県の水中文遺跡・沿岸遺跡－沿岸地域遺跡分布調査報 告－	2017（平成29）年3月
第88集	首里城跡－御内原東地区発掘調査報告書－	2017（平成29）年3月
第89集	首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（VI）－平成6年度調 査の遺物編（3）	2017（平成29）年3月
第90集	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書 4－普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡－	2017（平成29）年3月
第91集	松崎馬場跡－県営首里城公園 松崎馬場跡発掘調査報告 書（1）－	2017（平成29）年3月
第92集	東村跡－沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う 緊急発掘調査報告書－	2017（平成29）年3月
第93集	中城御殿跡（首里高校内）－首里高校校舎改築に伴う発 掘調査－	2017（平成29）年7月
第94集	基地内文化財8－平成27・28年度 キャンプ瑞慶覧西普天 間住宅地区 試掘・確認調査－	2018（平成30）年3月
第95集	中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書 （6）－	2018（平成30）年3月
第96集	首里城跡－京の内跡発掘調査報告書（VII）－平成6年度調 査の遺物編（4）	2018（平成30）年3月
第97集	首里城跡－継世門北地区発掘調査報告書－	2018（平成30）年3月
第98集	首里城跡－東のアザナ北地区発掘調査報告書－	2018（平成30）年3月
第99集	神山古集落－普天間飛行場雨水排水処理施設整備に伴う 発掘調査報告書－	2019（平成31）年3月
第100集	白保竿根田原洞穴遺跡重要遺跡範囲確認調査報告書3－補 遺編－	2019（平成31）年3月
第101集	大嶺村跡－那覇空港事務所管制塔庁舎新築工事等に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書－	2019（平成31）年3月
第102集	中城御殿跡－県営首里城公園 中城御殿発掘調査報告書 （7）－	2019（平成31）年3月
第103集	首里城跡－美福門磴道地区発掘調査報告書－	2020（令和2）年2月
第104集	キャンプ・シュワブ海域文化財分布調査	2020（令和2）年3月
第105集	真珠道跡・松崎馬場跡－県営首里城公園整備に伴う発掘 調査報告書－	2020（令和2）年3月
第106集	首里当蔵旧水路－龍潭線街路整備に伴う発掘調査報告書 －	2020（令和2）年3月
第107集	円覚寺跡（3）－三門地区の遺構確認調査報告書－	2021（令和3）年2月
第108集	鏡水原遺跡－那覇空港自動車道（小禄道路）建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書－	2021（令和3）年2月
第109集	中城御殿跡－県営首里城公園中城御殿跡発掘調査報告書 （8）－	2021（令和3）年3月

(2) 図録

	図 録 名	刊行年月
1	重要文化財指定記念 特別企画展「首里城京の内展－貿易陶磁器からみた大交易時代－」	2001 (平成13) 年 3 月
2	企画展 沖縄県立埋蔵文化財センター「平成12年度発掘調査速報展」	2001 (平成13) 年 7 月
3	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「平成13年度発掘調査速報展」	2002 (平成14) 年 7 月
4	企画展図録「世界遺産 ～出土品からみた琉球王国のグスク～」	2002 (平成14) 年 2 月
5	企画展図録「復帰後三十年間の県内発掘調査展」	2002 (平成14) 年11月
6	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」	2004 (平成16) 年 1 月
7	平成16年度企画展「発掘調査速報展2004」	2004 (平成16) 年 7 月
8	企画展図録「沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵 沖縄県内出土の舶載陶磁器展」	2004 (平成16) 年10月
9	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 陶磁の美－首里城京の内にもたらされた秀逸品－」	2005 (平成17) 年 1 月
10	平成17年度「沖縄県立埋蔵文化財センター企画展 発掘調査速報展2005」	2005 (平成17) 年 7 月
11	平成17年度「沖縄県立埋蔵文化財センター企画展 発掘調査速報移動パネル展2005」	2005 (平成17) 年 9 月
12	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「沖縄貝塚時代中期のミステリー」	2005 (平成17) 年10月
13	平成17年度企画展 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 陶磁器から古の神事(祭祀・儀式)を考える－首里城京の内神事における陶磁器使用の在り方－」	2006 (平成18) 年 1 月
14	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2006」	2006 (平成18) 年 7 月
15	平成18年度企画展「一土からあらわれた金属製品－甦った金属製品の輝き－」	2006 (平成18) 年10月
16	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 ～冊封がもたらした陶磁器～」	2007 (平成19) 年 1 月
17	平成19年度企画展「多和田真淳先生生誕百年記念パネル展」	2007 (平成19) 年 5 月
18	平成19年度企画展「発掘調査速報展2007」	2007 (平成19) 年 7 月
19	移動展「発掘調査速報パネル展2007」	2007 (平成19) 年 9 月
20	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「多和田真淳先生生誕百年記念第2弾 多和田真淳先生の研究業績と発見した遺跡」	2007 (平成19) 年 9 月
21	平成19年度企画展 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～青花の文様でみる～」	2008 (平成20) 年 1 月
22	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2008」	2008 (平成20) 年 7 月
23	企画展「原始人の知恵と工夫 天然素材(貝殻・骨・角・牙)の活用」	2008 (平成20) 年 9 月
24	重要文化財公開「平成20年度 首里城京の内跡出土品展 土でつくられた緑の宝石「小型青磁」」	2009 (平成21) 年 1 月
25	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2009」	2009 (平成21) 年 7 月
26	平成21年度企画展「考古資料にみる日本・沖縄」	2009 (平成21) 年 9 月
27	重要文化財公開「平成21年度 首里城京の内跡出土品展大型 青磁が彩る緑の空間～海を渡った焼物～」	2010 (平成22) 年 1 月
28	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2010」	2010 (平成22) 年 7 月
29	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「移動展 発掘調査速報展2010」	2010 (平成22) 年 9 月
30	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「10周年展 ～埋文センター10年の歩み～」	2010 (平成22) 年10月

	図録名	刊行年月
31	平成22年度重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 首里城ものがたり」	2011 (平成23) 年1月
32	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2011」	2011 (平成23) 年7月
33	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「沖縄いしの考古学」	2011 (平成23) 年10月
34	平成23年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 東南アジアと琉球」	2012 (平成24) 年1月
35	沖縄県有形文化財(考古資料)指定記念「古我知原貝塚・下田原貝塚出土品展」	2012 (平成24) 年2月
36	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2012」	2012 (平成24) 年7月
37	国指定重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」	2012 (平成24) 年11月
38	平成25年度企画展「発掘調査速報展2013」	2013 (平成25) 年8月
39	国指定重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 文様に込められた思い」	2013 (平成25) 年11月
40	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2014」	2014 (平成26) 年11月
41	平成26年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～甦る、異国からの宝物～」	2014 (平成26) 年7月
42	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2015」	2015 (平成27) 年7月
43	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2015 別巻 沖縄県の戦争遺跡 沖縄県戦争遺跡詳細確認調査の成果」	2015 (平成27) 年7月
44	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「ふたつの中城御殿跡」	2015 (平成27) 年10月
45	平成27年度重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 発見！首里城の食といのり」	2016 (平成28) 年2月
46	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「湧田古窯跡出土品展 - 琉球窯業の萌芽 -」	2016 (平成28) 年6月
47	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2016」	2016 (平成28) 年8月
48	平成28年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 憧れの青花」	2017 (平成29) 年2月
49	沖縄県立埋蔵文化財センター「発掘調査速報展2017」	2017 (平成29) 年8月
50	平成29年度沖縄県立埋蔵文化財センター移動展「下田原貝塚出土品展」	2017 (平成29) 年9月
51	平成29年度企画展「おきなわむかしむかし 縄文時代のくらし」	2017 (平成29) 年10月
52	平成29年度 国指定重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 探求し続ける心」	2018 (平成30) 年2月
53	沖縄県立埋蔵文化財センター企画展「発掘調査速報展2018」	2018 (平成30) 年7月
54	沖縄県立埋蔵文化財センター・浦添市教育委員会「平成30年度 沖縄県の戦争遺跡 前田高地から首里まで」	2018 (平成30) 年6月
55	平成30年度企画展「沖縄県の水中遺跡・沿岸遺跡」	2018 (平成30) 年10月
56	平成30年度 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 大交易時代の琉球と日本」	2019 (平成31) 年2月
57	沖縄県立埋蔵文化財センター パネル展「沖縄県の戦争遺跡 生徒・学生と共に学ぶ」	2019 (令和元) 年6月
58	沖縄県立埋蔵文化財センター 令和元年度企画展「発掘調査速報2019」	2019 (令和元) 年7月
59	令和元年度 沖縄県埋蔵文化財公開活用合同企画展「掘り出された戦前の沖縄」	2019 (令和元) 年10月
60	令和元年度 沖縄県立埋蔵文化財センター企画展 移動展「与那国島の遺跡展 トゥグル浜遺跡」	2019 (令和元) 年11月
61	令和元年度特別企画展「首里城正殿跡出土品展」	2020 (令和2) 年2月

	図 録 名	刊行年月
62	令和2年度 沖縄県の戦争遺跡展「歩いていける戦争遺跡」	2020（令和2）年8月
63	沖縄県立埋蔵文化財センター「発掘調査速報2020」	2020（令和2）年8月
64	沖縄県立埋蔵文化財センター開所20周年記念展「埋蔵文化財センター20年の歩み」	2020（令和2）年10月
65	令和2年度 重要文化財公開 琉球王国のグスク及び関連遺産群世界文化遺産登録20周年記念「首里城京の内跡出土品展 発掘された倉庫跡」	2021（令和3）年1月

（3）紀要

	名 称	刊行年月
1	紀要 沖縄埋文研究 1	2003（平成15）年3月
2	紀要 沖縄埋文研究 2	2004（平成16）年3月
3	紀要 沖縄埋文研究 3	2005（平成17）年3月
4	紀要 沖縄埋文研究 4	2006（平成18）年3月
5	紀要 沖縄埋文研究 5	2007（平成19）年3月
6	紀要 沖縄埋文研究 6	2009（平成21）年3月
7	紀要 沖縄埋文研究 7	2012（平成24）年3月

（4）その他

	名 称
1	沖縄県立埋蔵文化財センター 総合案内（パンフレット）
2	児童・生徒版総合案内「まいぶんへいこう！」（パンフレット）
3	沖縄県立埋蔵文化財センター 案内（リーフレット）
4	古代体験マニュアル1 「沖縄の縄文土器を作ろう！」（リーフレット）
5	歴史新発見！！ まいぶんセンター（リーフレット）
6	沖縄歴史絵年表（リーフレット）
7	重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器保存修理事業～陶磁器編～（リーフレット）
8	重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器保存修理事業～金属製品編～（リーフレット）



徽章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

令和 2 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター 年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7

TEL (098) 835-8751

FAX (098) 835-8754
